

東京湾再生官民連携フォーラムの主な活動状況について

(1) 東京湾再生官民連携フォーラムの概要

1) 登録会員数

フォーラム登録会員数 (R1.3.31 現在) ※【 】はH31.2からの増減
個人会員 317 名【10 名増】、団体会員 128 団体【3 団体増】

2) プロジェクトチームの設立 (該当なし)

プロジェクトチームは昨年度からの改編・追加はない。

(2) 令和 2 年度の主な活動状況

1) 東京湾大感謝祭 (2020) の開催状況

令和 2 年 10 月 17 日 (土)、18 日 (日) に「オンライン東京湾大感謝祭 2020」が開催された。

今回はコロナ禍という大変厳しい状況の中、関係者の創意工夫により東京湾の再生に向けた活動の一環となる、「オンライン東京湾大感謝祭 2020」が開催され、地球温暖化対策・COOLCHOICSE トークショー「WONDER ACTION CAFÉ 2020」のライブ配信や連携企画として、横浜ベイサイドマリーナで「ヨコハマフローティングヨットショー」、横浜・みなとみらいふかり桟橋で「帆船みらいへ・体験航海&東京湾環境大調査」を開催。

2) CSR-NPO 未来交流会

NPO、企業、組織団体それぞれの立場、単体だけでは解決できない課題や不足する部分について情報共有を図り、課題解決に向けて意見が交換できる機会として CSR-NPO 未来交流会をフォーラム主催で開催予定。

去年は、「海ごみ・海洋プラスチックごみ」について、現状、対策、回収、再生、清掃活動等について、行政、企業、学識経験者、NPO より情報提供があり、グループディスカッションも行われた。

今年は、「コロナ禍の NPO と企業の組織連携」と題し、生活スタイル様式の変化や行動変容から環境活動のヒントを探るとし交流課題を設定した講演を行う。

■交流課題

- ・ コロナ禍への対応課題による活動変化を考える
- ・ データ化、連携化による活動工夫
- ・ 事例から行動・活動のヒントをつかむ

■講演議題

- ・ 海洋環境にかかわる関係団体等との交流について
(国交省港湾局)
- ・ DX・AI とは何かを知ろう (成蹊大学理工学部)
- ・ 竹芝地区における官民連携によるエリアマネジメント
(一社 竹芝エリアマネジメント事務局)